

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 しなやかな森大在		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 14日		令和7年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		令和7年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 14日		令和7年 2月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・言語聴覚士が在籍している。	専門性のある支援が提供できている。	保育士と連携する事で個別だけではなく集団での機能訓練に取り組む。
2	認定こども園を運営している法人である為、経験豊富な保育士が訪問に携われる。	保育士の視点から児童に寄り添った訪問支援を行っている。	保護者だけでなく、園とも訪問の際の具体的な目的を話し合う。
3	就学時の移行支援の際に学校への情報提供ができる。	保護者・学校の希望により、情報提供を行っている。	学校から就学後に必要な情報を聞き取り今後の訪問支援の着眼点に取り入れる。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問の提供が断続的である。	児童発達支援事業所と兼務の為、訪問回数が限られ訪問に行けない月もある。また、職員の体調不良などにより提供が中止になる事があった。	訪問支援専属の職員の配置を検討する。また、職員に体調管理や勤務時の手指消毒に取り組んでもらう。
2	訪問支援時の教具・教材が揃えられていない。	訪問支援時に教具・教材を使用する事がない。	必要に応じて教具・教材を使用していく。
3	家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	開所初年度ということもあって、研修会の開催、情報提供の場の設定等取り組めなかった。	機能訓練担当職員による研修会を検討する。